


# 平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

## ブランド確立支援事業(3年目)案件:2008年5~6月分

| 番号 | 実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント  |
|----|---|
| 1. | 札幌商工会議所(スイーツの街・札幌 ブランド発信事業)   |
|    | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>○「藻岩山の日」におけるスイーツ PR</p> <p>札幌市の観光のシンボルのひとつに、山頂から市内が一望できる「藻岩山」。その標高531mにちなんで5月31日に開催された「藻岩山の日」において、「さっぽろスイーツ」のPRと販売を行いました。</p> <p>「藻岩山の日」は、「藻岩山魅カアップ推進連絡協議会」が主催するもので、山頂まで5分で結ぶ「藻岩山ロープウェイ」を無料運行するなど、多彩なイベントを実施しています。</p> <p>このイベントの一環で、山麓の旧小熊邸(ろいず珈琲館)において、今年のさっぽろスイーツ「サミットさっぽろプリンパイ」のプレゼントと販売を実施。また、JAPAN ブランド育成支援事業「スイーツの街・さっぽろ」の PR 事業として、観光客の皆様に向けた「サミットさっぽろプリンパイ」の紹介や市内のスイーツ店舗を紹介。</p> <p>悪天候にも関わらず、会場は常時満席になるほどの大盛況でした。</p>  |
|    | <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>当日は札幌市民や、国内・海外から多くの観光客が訪れ、強風でロープウェイが揺れる中、札幌の観光を楽しんでいました。</p> <p>悪天候で開催が危ぶまれたものの、逆に多くの方に施設内に入っただき、さっぽろスイーツの PR としては上々の効果を得ることが出来ました。</p>  |
| 2. | 盛岡商工会議所(南部鉄器フォー・ユーロ・ブランディング事業)  |
|    | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>前年度までの課題事項を抽出し、本事業コア・メンバーの協議により今年度の事業展開に関する方向性を定めた。</p>   |

- ・ 前年度までの試作品デザインを行い、ヨーロッパ市場にも精通するタウノ タルナ氏を引き続き招聘し、試作品の仕上げ、海外における展示会の開催、海外におけるビジネスパートナーシップの構築、製品パッケージ等について指導・助言を受けた。
- ・ タルナ氏招聘時に本事業コア・メンバーで協議し、試作品については、用途に応じて追加増産することを決定した。また、海外展示会の開催については、フィンランドの国営機関である Design Forum Finland の会場を借用し、展示会を開催することを決定、同機関に申込みを行った。
- ・ 海外におけるビジネスパートナーシップの構築については、フィンランドの Metos 社、littala 社に対して、タルナ氏を通じて打診を継続している。特にこれらの企業のほか、ヨーロッパのバイヤーについては、上記展示会に招待し、試作品の現物を評価してもらったうえで、ビジネスパートナーシップの構築について、より具体的交渉に入る。

< 担当者のコメント >

### 3. 泉佐野商工会議所(「大阪:泉州タオル・泉州こだわりタオル」ブランドでの市場浸透)

< 今月の事業実施状況 >

当事業の実施主体となる、大阪タオル工業組合を中心に具体的な事業の推進スケジュールなど、数度に渉り打合せを実施した。

6月17日(火) 14:00 行政、業界、専門家による「 JAPAN ブランド事業実行委員会」を開催し、事業概要、小委員会設置、スケジュールなど決定承認した。

また、同17日(火)18:00 より、「泉州こだわりタオル推進委員会」を開催し、専門家委員、タオル業界により、今年度のテーマ、開発、展示、販路開拓、個別企業との企画協議日程、商品認定検討会など具体的な検討を実施した。

今年度は、JAPANブランドの総仕上げと位置づけ、メーカーのこだわりによりで、より完成度の高い開発を目指すこととした。



#### 4. 神戸商工会議所(神戸ブランドMeets上海)

< 今月の事業実施状況 >

運営委員の就任依頼を実施。

日程調整の結果、7月24日(木)に第1回運営委員会を実施する事が決まった。

< 担当者のコメント >

#### 5. 今治商工会議所(今治タオルプロジェクト)

< 今月の事業実施状況 >

《今治タオルプロジェクト展vol. 3》

期 間 平成20年6月11日(水)～13日(金)

10:00～18:00(最終日は16:30終了)

場 所 東京ビッグサイト 西ホール(インテリアライフスタイル内)

展 示 物 <ハイグレードな白いタオル> 89点

内訳 バスタオル、フェイスタオル 64点

バスローブ 17点

タオルケット 3点

タオルシーツ 1点

パジャマ 1点

ラップドレス、ペアーワンピース 3点

<タオル見本帳> 2セット

<タオルライブラリー> 490サンプル

商談件数 約100件

来場者数 約1,500人(インテリアライフスタイル入場者27,390人)



#### 6. 広川町商工会(新風久留米絣ブランド化事業)

< 今月の事業実施状況 >

事業参画者による協議会(実行委員会と同じメンバー)を3回開催し、事業内容の詳細の検討と実施に係る意識の統一・確認を行なった。また、7月に実施する推進委員会と実行委員会の内容を打ち合わせた。

今後は、推進委員会を開催し正式に実行委員会を立ち上げ、具体的に事業に入

|            |  |
|------------|--|
| る。         |  |
| <担当者のコメント> |  |

# 平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

## ブランド確立支援事業(2年目)案件:2008年5~6月分

| 番号 | 実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント  |
|----|---|
| 1. | <b>宮城県商工会連合会(NARUKO ブランドプロジェクト)</b>   |
|    | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>第1回 プロモーション戦略会議 平成20年 6月21日(土)13:40~</p> <p>(1)本事業の進め方について<br/> 事務局樋口主任主査より、今年度の当該事業に係る実施計画書の説明がなされた。併せて今年度出展を計画する「IPEC2008」について説明を行った。また、熊谷委員より、藤崎百貨店で8月に開催される『クラフトフェスティバル~伝統の技と新たな感性の融合~』(仮称)の説明があり、ブランド訴求のためにも是非出展をしたい旨提案があり、全会一致で了承された。その他、『第12回みやぎものづくり大賞』への出品や、11月に開催される『せんだいデザインウィーク2008』への出展等が了承され、今年度事業は、積極的に本ブランドを対外的にアピールする位置付けであることを出席委員の共通認識とした。</p> <p>(2)本事業の進め方について<br/> 桂委員長・梅田委員・伊藤委員(産業技術総合センター)より今年度の試作品のデザイン及び、製造(部品の接合)に係る提案をそれぞれいただいた。</p> <p>(3)今年度の目標設定について<br/> 標記については、下記のとおり課題を克服することで共通認識を得た。<br/> ○ 試作を早急に開始し、バリエーションを広げること<br/> ● 新製品の市場化を図るために、受注→生産→販売の流れを確立する<br/> ○ 事業費の範囲内でできる限り作品を披露し、市場の評価を得ること</p> |
|    | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p> <p>今年度事業で、新ブランドの市場化が急速に進むような機運である。イベントへの出展はできるだけ効果の上がるような内容にするよう努めたい。</p>   |
| 2. | <b>伊達市商工会(JFK ジャパンニットブランドプロジェクト)</b>  |
|    | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p>  |

< 担当者のコメント >

### 3. 足利商工会議所(足利幕府”プロジェクト)

< 今月の事業実施状況 >

○6月12日、プロジェクト実行委員会開催。報告事項以下5点。

①. 足利幕府ブランドデザインコンクールの経過について

事務局から説明。昨年からの募集をしている事業。現在で109点の応募があり、7月末日まで募集する。目標は1000点とする。今後は、審査会の審査員の人選をまず行なうこととし、コシノジュンコ氏を委員長とした構成に進めていくと説明。審査会の日程は、コシノ氏、政所氏、会頭の都合により第1候補を8月29日(金)としたい。

②. JAPANブランド事業について

この事業の流れを説明。この事業は戦略策定事業とブランド確立事業の2本柱。足利は現在、戦略策定を経てブランド確立の2年目という位置付け。2/3が国の補助で、事業規模は各年とも3000万円が上限。

③. 平成19年度(1年目)事業の取組結果について

平成17年度から繊維部会の中から足利ブランド準備委員会(足利銘織創造研究会)を中心として進めてきた事業。目的は、意匠登録第1号である「雲井織」をメインとしたブランド作りです。すすめてきたが、消費者調査を行い、足利には歴史や文化があることから「足利幕府」をメインにしたブランドづくりにしていく方向となった。特に昨年度は、繊維やアルミの試作品づくりをメインとした事業展開をしてきた。そして試作品の発表会として大茶会を開催し、盛況に終わった。

④. 平成20年度の同事業、採択状況について

今年の採択状況を説明。戦略策定からブランド確立の3年目まで、42件の会議所、商工会が採択となった。栃木県内では、小山が戦略策定、鹿沼がブランド確立1年目、そして足利がブランド確立2年目の3箇所。

⑤. その他

今年の2月の大茶会(試作品発表会)で来場者からアンケートをした結果がまとまったことを報告。東京の表参道にオープンした「RIN」というアンテナショップの紹介、政所氏がプロデュースする「旅フェア」のPRをした。

続いて、協議事項以下3点

①. 委員会の設置(規定)と委員の委嘱について

事務局から委員会の設置規定について説明し、異議なく承認される。委員については、会頭を委員長とし18名の委員でスタートしたいと説明。

②. 本年度事業の計画(方向)について

今年度の重要課題は、まず昨年試作した製品の改良化。そして完成された製品の販売管理ルールの策定。そしてブランド確立の波及により当市の地場産業の底上げを図るものと

|  |  |
|--|--|
|  | <p>して、産地の再生を目指す説明。</p> <p>③. 採択にあたっての審査員指摘事項について</p> <p>審査員から12項目にわたり指摘をうけ、資料7の赤字で記載されている部分を訂正したことを説明。今回のプロジェクトの主旨としては、足利の歴史・文化を足利幕府というテーマのもと「モノ」に置き換え社会に伝えようというもの。これが、地場産業の復活、足利の歴史と文化の伝承、ブランド確立の実現につながるもの。</p> <p>最後に、各委員へ委嘱状を渡し、承諾書を署名していただき閉会となった。</p>   |
|  | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p>  |
| <p><b>4. 甲府商工会議所(ジュエリー産地山梨・産地ブランド「Koo-fu」プロジェクト)</b></p> |  |
|  | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p><b>【委員会の開催】</b></p> <p>第1回</p> <p>日時 平成20年5月23日(金)午前10時</p> <p>場所 甲府商工会議所 4階401会議室</p> <p>内容 ①実行委員委嘱式<br/>②平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」の内容について<br/>③その他</p> <p>第2回</p> <p>日時 平成20年6月13日(金) 午後1時30分</p> <p>場所 甲府商工会議所 4階402会議室</p> <p>内容 ①平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」の内容について<br/>②その他</p> <p><b>【部会】</b></p> <p>広報イベント部会</p> <p>第1回</p> <p>日時 平成20年6月10日(火) 午前10時</p> <p>場所 甲府商工会議所 4階401会議室</p> <p>内容 ①平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」に関する広報・イベントについて<br/>②その他</p> <p>商品開発部会</p> <p>第1回</p> <p>日時 平成20年6月10日(火) 午後1時30分</p> <p>場所 甲府商工会議所 4階401会議室</p> <p>内容 ①平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」に関する商品開発について<br/>②その他</p> <p>第2回</p> <p>日時 平成20年6月24日(火) 午後1時</p> <p>場所 甲府商工会議所 5階ホール</p> <p>内容 ①商品開発における目標について<br/>②コレクション、ワークショップを含めた検討<br/>③その他</p> <p>広報イベント部会</p> <p>第1回</p> <p>日時 平成20年6月10日(火) 午前10時</p> <p>場所 甲府商工会議所 4階401会議室</p> <p>内容 ①平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」に関する広報・イベントについて<br/>②その他</p> |

|   |   |
|---|---|
|   |   |
|   | < 担当者のコメント >  |
| <b>5. 静岡商工会議所(「NIPPON SENSE」プロジェクト)</b> |   |
|   | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>5月27日(火)「JAPAN ブランド育成支援事業」審査結果(条件付き採択)に係る意見交換を実施した。</p> <p>6月19日(木)～27日(金)</p> <p>当事業で出品を予定している「メゾン・エ・オブジェ2009・1月展」への出品物の作成準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出品家具の撮影を静岡市内の公共施設(静岡市役所、中勘助文学記念館、駿府公園紅葉山庭園茶室、浮月楼)等で行った。(6/30 に日本貿易振興機構(ジェトロ)に「メゾン・エ・オブジェ2009・1月展」への提出書類(出品申込書・承諾書、事前調査書類、会社概要及び出品物写真付英文パンフレット)を送付した。</li> </ul> <p>6月27日(金)第1回「静岡家具ブランド推進委員会」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長に町田光委員、副委員長に松永祐司委員をそれぞれ全会一致で選出した。</li> </ul> <p>※町田光委員長: (株)ファニコンインターナショナル代表取締役社長・静岡県家具工業組合副理事長</p> <p>松永祐司副委員長: (株)松永家具 代表取締役社長・静岡県家具工業組合理事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAPAN ブランド育成支援事業について事務局から説明した。そして、甲賀プロデューサーから「NIPPON SENSE プロジェクト」平成 19 年度事業報告並びに平成 20 年度事業計画(案)と今後の方向性について提案、了承を得られた。</li> </ul> |
|   | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p> <p>&lt; 今後のスケジュール &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月上旬に第1回ワーキング委員会を開催する。 ※ワーキング委員会は年7回程度開催する。</li> <li>・国際見本市メゾン・エ・オブジェ2009・1月展への出品(開催地:フランス・パリ)</li> </ul> <p>開催期間:平成 20 年1月 23 日～27 日</p>  |
| <b>6. 豊橋商工会議所(三河つくだ煮ブランディング)</b>        |   |
|   | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>5月21日～22日「東三河外食産業展示会 2008」(豊橋市)に出展<br/>(新ロゴマーク等を用いて「三河つくだ煮」を地元でPR)</p> <p>5月29日 第2回三河つくだ煮ブランディング推進委員会開催</p> <p>6月10日 第3回三河つくだ煮ブランディング推進委員会開催</p> <p>6月23日 第4回三河つくだ煮ブランディング推進委員会開催</p> <p>上記推進委員会において、平成20年度事業計画の具体化を検討した。</p>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>20年度事業の採択を受け、事業計画の具体化を推進委員会において進めてきた。<br/>         今後は、各項目をさらに具体化し、各々の担当ごとにすすめていく。</p>   |
|  | <p><b>7. 瀬戸商工会議所(瀬戸・究極のせとものプロジェクト)</b></p>  |
|  | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p><b>瀬戸地域ブランド委員会</b>…6月23日に第1回委員会を開催し、瀬戸地域ブランド委員会・作業部会の設置、委員長・副委員長の選出、JAPANブランドの今年度の事業の進め方、今までの各プロジェクトにおける経過報告、今年度のスケジュールについて検討し、委員の皆さんから意見を伺い、専門家の田中章雄氏からアドバイスを頂いた。</p> <p><b>瀬戸地域ブランド委員会作業部会</b>…6月23日に第1回作業部会を開催し、専門家の田中章雄氏にアドバイスを頂きながら、陶製ピアカップのビジネスプランについて、お茶プロジェクト・瀬戸基準プロジェクトの進め方について検討した。</p> <p><b>お茶プロジェクト</b>…5月11日、6月12日に自主打合せを開催し、6月14日には、四日市市の水沢農業協同組合を訪問し、お茶についての勉強会を開催した。</p> <p><b>瀬戸基準プロジェクト</b>…5月11日、19日、6月6日、18日に自主打合せを実施し、6月20日には、ハウス食品(株)名古屋支社を訪問し、カレーについての勉強会を開催した。</p> |
|  | <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>今年度は、お茶プロジェクトと瀬戸基準プロジェクトの2つのプロジェクトを進めています。お茶プロジェクトでは、四日市市の水沢茶農業協同組合と協力して、本かぶせ茶と陶磁器のコラボレーションを実施していきます。瀬戸基準プロジェクトでは、消費者の方に分かりやすいカレーをいう題材を用いて、『安心・安全、環境にやさしい』をコンセプトに試作品開発にあたります。両プロジェクトとも現地訪問や企業訪問を実施して情報収集を行っています。</p>   |
|  | <p><b>8. 蒲郡商工会議所(三河繊維製品のブランド確立プロジェクト)</b></p>   |
|  | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>H20.5.28(水) JAPANブランド育成支援事業2年目打合せ 於:蒲郡商工会議所<br/>         2年目年間計画について打合せ。製作生地検討会。<br/>         製作生地の組織・密度、タヨ糸番手、加工仕上げ、柄、色構成等について検討。<br/>         寝装品のスタイルデザインの組み立て、後日縫製スタイル指示書を提出。</p> <p>H20.5.31(土) 於:今野デザイン事務所(東京都)<br/>         専門家メンバー3名事業遂行打合せ(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)<br/>         カラーマーチャンダイジングのコーディネート計画に基づいてカラー出し作業。</p> <p>H20.6.13(金) インテリアライフスタイル展視察&amp;打合せ 於:東京ビッグサイト<br/>         秋11月開催のインテリアライフスタイル展出展準備のため、同展視察および30日の製作生地検討会での<br/>         織柄、プリント柄、カラー構成等の直し項目等事業遂行打合せ。</p>   |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>H20.6.30(月)JAPANブランド育成支援事業打合せ 於:蒲郡商工会議所<br/>製作生地検討会。</p>  |
|  | <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p>  |
|  | <p><b>9. 大野商工会議所・勝山商工会議所(『醗酵によるまちづくりを目指して』)</b></p>  |
|  | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;<br/>6月13日 検討委員会の開催<br/>(1)事業計画及び予算について協議<br/>採択を受けて、本年度の事業計画及び予算について協議を行うが、詳細については次回再検討することとなる。<br/>(2)今後の進め方について協議<br/>8月に小泉武夫氏と橋本彦堯氏の両氏に事業推進についてアドバイスを受けることとなる。</p>   |
|  | <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p>  |
|  | <p><b>10. 鯖江商工会議所(本格的な漆の伝統工芸品「REAL JAPAN ブランド」の展開)</b></p>   |
|  | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;<br/>(1)試作品<br/>①デザイン打合せ<br/>5月29日(木)～30日(金)<br/>東京にて村松文彦氏とデザイン打合せ。<br/>6月17日(火)京都へ行き、フレンクラー氏とデザイン打合せ。<br/>今後のブランド展開の調整を行う。<br/>②職人ネットワーク<br/>6月11日(水)、輪島に行き、打合せを実施。<br/>6月17日(火)、大津に行き、ネットワーク構築に係わる調査を実施。<br/>6月24日(火)、加賀に行き、ネットワーク構築に係わる調査を実施。<br/>(2)展示会(6月末現在)<br/>海外展示会、国内展示会について場所等の決定</p> |
|  | <p>&lt;担当者のコメント&gt;<br/>2年目となる今年度は、試作品のさらなる改良に加えて、ブランドビジネスの展開及び販路の開拓がポイント。特に来年1月末には、ドイツの美術館やギャラリーにて展示会を予定。海外の知的富裕層等への普及ネットワーク構築を期待している。特に試作品の進捗管理がこれからの課題。</p>   |



|     |  |
|-----|--|
| 11. | 南あわじ商工会(淡路瓦の技術力を活かした「エコ瓦」の開発と世界ブランドの創出)  |
|     | < 今月の事業実施状況 >  |
|     | < 担当者のコメント >   |
| 12. | 鳥取県商工会連合会(INABA(因幡)ブランド新商品開発プロジェクト)  |
|     | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>平成20年度の事業テーマである「INABAブランド」の新市場開拓を推進するため、6月11日から13日まで東京ビッグサイトで開催されたライフスタイル提案型国際見本市「インテリアライフスタイル展」(メサゴ・メッセフランクフルト(株)主催)に出展。</p> <p>今回で18回目を迎える国際見本市「interior lifestyle」には、国内外から653社が出展。約3万人が来場した。家具、テキスタイル、生活雑貨などクオリティの高いインテリア製品を多数展示し、新しい生活提案、デザインプロダクトなど趣向を凝らした展示空間で魅せる見本市として注目され、高い評価を得ている。</p> <p>期間中、因州和紙、智頭杉などを融合させた「INABAブランド」仕切りシリーズのなかから「NAMI」「PARTISHADE」「WA・SAKYU」「SUKASHI」「a Forest」の5アイテムを展示。建築メーカー、セレクトショップ関係者などから高い評価を得ることが出来た。</p> |
|     | < 担当者のコメント >   |
| 13. | 内子町商工会(五十崎和紙「Ja Gue Na」和紙を使った生活空間の提案)  |
|     | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランス人デザイナーとのコラボレーション<br/>独自の和紙加工技術指導のため、ウルヴィツキ・ガポール氏(金箔紙アーティスト・フランス在住)が8月から五十崎へ滞在されるにあたり、入国手続きの手配など、受入れの準備を行った。</li> <li>・五十崎和紙作品展の準備・実施<br/>開催期間: 6月16日(月)～7月4日(金)<br/>開催場所: 住友信託銀行松山支店 ロビー</li> </ul>   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>主 催:愛媛県・住友信託銀行<br/>         展示内容:紙漉り和紙タペストリー・紙漉り和紙キューブ<br/>         界限づくり委員会の和紙作品</p>  |
|     | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p>   |
| 14. | <p><b>香美市商工会(土佐打刃物 JAPAN ブランドプロジェクト)</b></p>  |
|     | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鯉のタタキセットについて協議<br/>         細部の決定(まな板の真空パック/底に張る紙・・・赤のラシャ/落款)<br/>         プレス用の写真撮り15日から20日・・・t.c.k.w の永田さんが依頼<br/>         プレスリリース6月末から7月初旬予定/リリース先は500社</li> <li>・包丁セットのバリエーションの変更<br/>         香川県の漆を使用し舟行・柳刃・葉切・出刃で材質は檜・サワグルミを使用する</li> <li>・川遊びセットも検討する<br/>         カナツキ・ウバシの試作<br/>         革細工とのコラボレーションを考える</li> </ul> |
|     | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売先の選定が困難</li> </ul>  |
| 15. | <p><b>大木町商工会(国産い草を使った花ござブランド創生プロジェクト)</b></p>   |
|     | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>20年度 JB 事業打合せ会を、6月18日(水)午前10時より大木町商工会館「研修室」において開催し、</p> <p>先ず、佐々木あいさつ(19年度 JB 実行委員長)</p> <p>①「KUSAWAKE」のポスター、タグを作成し、PR を早急にし、国内に浸透させる事が、重要である。</p> <p>② JB 採択結果、指摘事項を十分に検討する、必要がある。</p> <p>&lt; 協 議 事 項 &gt;</p> <p>議長に佐々木前実行委員長を選出し、議事進行し、(1) 20年度 JB 採択結果、指摘事項に対応について</p> <p>各指摘事項を踏まえて、今年度の JB 事業に活かして、実りある事業にしていくことが重要であると言う、認識で全員異議無く了承した。</p>                   |

(2) 「 KUSAWAKE 」 の表示の件について、

早急にPR、国内浸透を図る必要性から、各社共通のポスター、タグの作成が重要となって来ることで、全員異議無く了承した。

(3) その他の件について、

① 11月に「 JAPANTEX2008 」に出展することを目指し、新製品造りをし、「 KUSAWAKE 」

ブランドとして、出展する為には、7月いっぱいにはデザイン化する必要がある。

② 各社の強みを生かした商品を提案する。(当面は、2本立てでいく)

□ A 各社個別商品      :      □ B フラッグシップモデル (共同商品)

[ フラッグ商品とは、消費者を掘り起し出きる様な商品づくりが必要ではないのか!! ]

次回の会議の日程について、協議した。

① JB運営委員会の開催

7月10日(木) 午後2時

大木町商工会館「研修室」

② JB実行委員会の開催

7月10日(木) 午後3時30分

大木町商工会館「研修室」

以上をもって、全議案の審議を終了した。 時に、12時10分である。

< 担当者のコメント >

# 平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

## ブランド確立支援事業(1年目)案件:2008年5~6月分

実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント

### 弘前商工会議所(「津軽打刃物」ブランド展開プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

平成20年6月17日(火)18:00~19:30

GARDEX事務局渡邊氏から概要説明、事務局村谷から出展概要説明があり最適の展示会と考え出展することとした。

平成20年6月24日(火)18:00~20:00

GARDEX出展申し込みを発送した旨事務局より報告。  
今井産業さんでの展示会に関しては、三國茂森、保村さんが出店できないようなので日程を改めて調整することとした。

今回の展示会のコンセプトは、鍛冶職人の仕事、プロジェクト活動内容を知ってもらうこととした。

プロモーションビデオ、TV取材の展示会場での放映や、パネル説明、砥ぎ実演、試作品紹介を実施することとした。



平成20年6月3日(火)18:00~20:00

平成20年度採択時の審査員コメントに関して検討。  
弘前感交劇場のプロモーションの中で展開をしていくこととした。  
例えば、弘南電車の中での展開等。(鉄の車内での表現等)

- ・春夏秋冬の視点で考える。
- ・野菜のすりおろしがそのまま器を兼ねたもの
- ・鍛造ストーブ(付随するスコップ、鉋、斧、デレキ、十能等周辺の鉄製道具)
- ・火で楽しめるコンセプト
- ・中華鍋(北京鍋)ゴシゴシと気軽に洗える丈夫な使いでのあるタイプ
- ・石鍋風の鉄製鍋
- ・ステーキ皿

昨年度の試作品の改良。

平成 20 年 6 月 10 日(火) 18:00～19:30

展示会場として、(株)今井産業虹いろの杜棟ギャラリーを活用するために、現地で打合せを実施。

今井社長の下記のコンセプトと当事業のコラボレーションを検討することとした。

住まいは、「暮らしのコーディネート、人とのコミュニケーションのステージ」だといえますが、その住まいのあり方も時代の進展と共に大きく様変わりしてまいりました。そんな状況をふまえて今井産業では、2005 年、より多くのお客様のご要望を実現するために本社屋を新設。市民の皆様が集い、語り、憩い、学べる施設として、そして、私たち今井産業が提唱する「木造住宅の素晴らしさ、快適さ、無限の可能性」を表現するメディアとして、住まいと暮らしの情報発信・提案館『虹いろの杜』をオープンいたしました。

<担当者のコメント>

### 鹿沼商工会議所(かぬまグループ高度微細加工技術ブランド化プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

JAPAN ブランド推進委員会会議の日程調整を行い、7 月 22 日(火)開催に決定した。

<担当者のコメント>

### 昭和村商工会(こんにやくヘルシーダイエットバーガー開発プロジェクト ～こんにやく王国・昭和村発！アメリカ文化の象徴であるハンバーガー市場への挑戦～)

<今月の事業実施状況>

事業推進小委員会開催 6月19日(木)

事務局よりジャパンブランド事業について組織構成の説明の後、小委員会の委員長副委員長について諮ったところ、委員長に高橋幸一郎、副委員長に真下亀作両氏に決定された。

その後、事業内容について提案書を中心に説明し、今後の事業について協力をお願いした。



<担当者のコメント>

### みなかみ町商工会(みなかみ STYLE 北欧デザイン 『みなかみ meets スカンジナビア』)

<今月の事業実施状況>

昨年度実施したブランド確立支援事業(0年度)における、委員及び専門家の指導を引き続き仰ぎ、今後の日程について、打合わせ会議を行った。本年度は1年目となり、試作品開発と販促ツールの開発を含めたことが中心なることを確認した。プロジェクト委員の選定、専門デザイナーと専門家の招聘をだれにするか、なども確認した。

<担当者のコメント>

単年度事業の、限られた日にちの中で行っていくには、しっかりとした事業計画と専門家の指導がないと大変だと感じた。昨年行った事業とは少し違い、机上での委員会は減少すると思うが、現地視察、専門家、デザイナーとの話し合いが頻繁に行われ、試作品を早く作成することが必要かと思う。課題としては、海外に向けてどのような商品がいいのか早く決定したい。

**新津商工会議所(花のまち・地域ブランド創出事業)**

<今月の事業実施状況>

9月11日～14日に開催される「ロシア・ハバロフスク国際見本市」に出店予定(詳細はこれから検討)

<担当者のコメント>

**長野商工会議所(「長野発 ナチュラルピュアライフブランド確立プロジェクト」)**

<今月の事業実施状況>

16名のメンバーから構成するブランド推進委員会を正式的に立ち上げることに決定、ファッションに偏らないライフスタイル型の商品企画をする方向で、意見が一致。

また、国内外ファッション・インテリア関連の情報収集を行った。この度の一番の課題とされる「ニューシルク」の製作に関しては、9月の初回展示会(国内:東京インターナショナルギフトショー、海外:CLASS)に向け試作及びデザイン考案が開始された。

<担当者のコメント>

「ニューシルク」の開発に関しては、未だ先駆者がいないため、相当の時間と経費が費やされることが想定される。

故に、地元信州大学やシルクの専門家と共に地道な研究を重ねることが必要である。9月までには、一定の成果のある製品開発を行う。

**静岡商工会議所(ヨーロッパ市場で売れる静岡茶づくり)**

<今月の事業実施状況>

6月18日(水)静岡市産学交流センターとの打合せ会を開催した。

・専門家への業務委託について(静岡茶文化の振興、映像プロモーションツールの制作)

6月27日(金)第1回「静岡茶ブランド推進委員会」を開催した。

・委員長に森宣樹委員を全会一致で選出した。

※森宣樹委員長:(株)マルモ森商店 品質管理責任者

・JAPANブランド育成支援事業について、委員ならびにコーディネーター、事務局から説明し、平成19年度戦略策定事業の活動報告並びに平成20年度事業計画(案)について提案、了承を得られた。

5月下旬～ 静岡茶の映像プロモーションツールの制作を開始した。



<今後のスケジュール>

・10月下旬に「EUプロモーション活動」(ドイツ、スイス、フランス)を実施する。

・9月までにテストマーケティング用の試作茶の商品開発や、プロモーションツールの制作を進めるとともに、現地の受け入れ先企業との連絡調整をしていく。

### 堺商工会議所(堺の伝統産業の世界ブランド化)

<今月の事業実施状況>

5月:堺の伝統産業の世界ブランド化プロジェクト推進委員会委員の選定を行った。

平成19年度にJAPANブランド育成支援事業 戦略策定事業として実施した「堺の伝統産業の世界ブランド化プロジェクト準備委員会」において、海外におけるマーケティング調査を行った結果をもとに、「打刃物をニューヨーク若しくはモスクワにて販売することが提言された。

この提言を受けて、刃物業者、特に打刃物を取り扱う事業所で、堺ブランド「堺技衆」認証企業である4社の代表者を委員として参画させることになった。

6月:堺の伝統産業の世界ブランド化プロジェクト推進委員会委員の委嘱を行った。第1回会議を7月18日(金)開催することになった。

<担当者のコメント>

堺の伝統産業の代表として、打刃物が選ばれたが、初めての海外展開ということ、また経費も相当のもが見込まれることから、本年度に十分な検討を行い、今後の事業展開を見極めたい。

### 東広島商工会議所(西条酒JAPANブランド確立事業)

<今月の事業実施状況>

6月19日 西条酒ブランド育成委員会(第1回)で、ブランド名称を「Saijo sake」に、スローガンを「Taste Japan.Saijo Sake 日本を、味わおう。」に、ロゴは枡をイメージしたデザインに決定した。

<担当者のコメント>

ブランド名称の使用基準について、「西条産地呼称清酒認証基準」に適合した酒だけを対象とした場合、普通酒はどう取り扱うかが課題となる。また、「西条産地呼称清酒認証基準」そのものも、従来どおりでよいかどうかを検討する必要がある。

**人吉商工会議所(球磨焼酎を世界ブランドに)**


<今月の事業実施状況>


事業の実施はありません。

<担当者のコメント>

# 平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

## 戦略策定支援(0年目)案件:2008年5~6月分

| 番号 | 実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント  |
|----|---|
| 1. | <b>小山商工会議所（結城紬デニム）</b>  |
|    | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>委員会設置に向けて、「産地全体の取り組み体制の構築」の指摘を受けて、栃木県・茨城県の関係団体に概要説明と協力要請を行いました。</p>   |
|    |  <p>結城とよむと多くの糸入たりの製法工夫によって成長してきた本場結城は、昭和31年に設立された「結城製織文化協会」に、結城製織は「伝統的工業品」に認定されています。『製法継承文化継承協会の継承の努力は、『まつひの』、『結城ひり』、『結城ひり』の二つの果物も混ざらなければならず、その結城・長き・自ら込み製や編みずれたなど、産地について適切な役割に役割を担わなければなりません。</p> <p><b>PRESERVING TRADITIONAL YUKI-TSUMUGI</b><br/>The method used to produce Yuki-tsumugi has developed over a century through constant practice in 19th-century Japan. In 1977, the process included in the literature was done by hand spinning from silk, and weaving. Spinning yarn was done called 'Yuki-tsumugi' and later, the use of modern tools made the process and more a part to create a sense of fabric. This technique produces a high quality final product. Please see the types of Yuki-tsumugi and the use of it in slightly different ways in the attached checklist. Each of them is more common.</p> |
| 2. | <b>東京商工会議所（リビング デザイン・東京）</b>  |
|    | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>第1回ブランド構築委員会実施を7月11日に行うにあたり、参画事業者の決定およびプロデューサー・デザイナーの選定を行いました。併せて、ブランド構築委員会設置規定、委員長・副委員長の人選、今後の事業の進め方とスケジュールについて、それぞれの案を作成し、第1回のブランド構築委員会へ諮ることになりました。</p>   |
|    | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p>   |
| 3. | <b>武生商工会議所（越前打刃物）</b>   |
|    | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>6月9日(月) 午後1時00分 打合せ、産地視察 鷹屋信隆氏<br/>6月12日(木) 午後7時00分 開始式 セレモニー<br/>勉強会「越前打刃物の海外販売戦略について」</p>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p style="text-align: right;">株式会社デザインアシスト ディレクター 鷹屋 信隆</p> <p>氏</p> <p>6月26日(木)午後6時15分 事業概要説明会</p> <p style="text-align: center;">越前打刃物協同組合、タケフナイフビレッジ協同組合 28名</p>  |
|  | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p> <p>地場産業である越前打刃物の活性化に産地が一体となって取り組むのに、JAPAN ブランド育成支援事業は起爆剤としてひとつのきっかけ作りになると考えられます。</p>  |
|  | <p><b>4. 徳島県商工会連合会（木工と藍と食文化 徳島の伝統を活用したブランド創出）</b></p>   |
|  | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>実施事業はありません。</p>   |
|  | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p>   |
|  | <p><b>5. 越智商工会（菊間瓦ブランド・いぶし銀プロジェクト）</b></p>  |
|  | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>6月19日(木)菊間町窯業協同組合の組合員に対してJAPANブランド育成支援事業の概要について説明会を開催して、事業への参加協力を依頼した。</p> <p>7月に第1回のプロジェクト実施委員会を開催予定。</p>  |
|  | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p>   |
|  | <p><b>6. 高知商工会議所（natural jewelry「SeaProof」海外展開プロジェクト）</b></p>   |

< 今月の事業実施状況 >

■ 第 1 回 JAPAN ブランド戦略策定委員会開催 (6 月 26 日)

宝石珊瑚ブランド「SeaProof」のブランド化について戦略を策定するため、第 1 回目の委員会を開催しました。

SeaProof は、昨年度、全国展開支援事業にて開発した、素材特性を活かしたアクセサリーブランドであり、サーファーをターゲットに据えています。

委員会では昨年の事業についての反省や消費者の反響から取組を検証し、今後の展開について検討しました。本年度はまず、ブランドの価値を構築するための要素について理解を深めるため、国内外で活躍するデザイナーの招聘や、ブランド構築成功企業への視察等を行なうこととしました。

< 今後の予定 >

7 月 23 日～24 日、ジュエリーデザイナーを招聘予定。

7 月 24 日、第 2 回委員会の開催。



< 担当者のコメント >

高知県は宝石珊瑚の取扱量が日本一です。宝石珊瑚は、水質が優れた海の、光の届かない数百メートルという海底で数百年という歳月をかけゆっくり成長する非常に貴重な宝飾素材で、その希少性と神秘性により、古来より宝石珊瑚は数々の伝説を持ち、宝飾品としてのみならず、お守りとして、特に海難・水難除けとして用いられてきた歴史もある。そういった定性的資源をいかに付加価値化として表現し、顧客に浸透させていくか、そしてもっとも望ましい販売チャネルを選定するかが本年度事業の骨子です。

2 月に開発したプロトタイプ商品について、市場からの反応がまだ希薄である理由は、主に価格に見合うだけの付加価値付けがまだ不十分だという結論に至りました。今回は一部でコストプラス方式か、価格マイナス方式か等、価格面での議論が目立ったものの、徐々に参加事業者のなかで「ブランドの価値付け」に対し、理解の深まりも見られます。

7. 鹿児島県商工会連合会 (“薩摩の食”ジャパンブランド化事業)

|    |  |
|----|--|
|    | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>採択に伴う実行委員会設置要領の規定, 委員の選定・委嘱作業を行う。第 1 回実行委員会開催日程の調整を行う。</p> <p>調査対象地域における求評会・見本市等の情報収集。</p>                   |
|    | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p>  |
| 8. | <p><b>金武町商工会（琉球紅茶 Japan ブランド形成支援プロジェクト）</b></p>  |
|    | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p>   |
|    | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p>  |
| 9. | <p><b>西原町商工会（「黒糖がんじゅーむら西原」ブランド開発支援プロジェクト）</b></p>  |
|    | <p>&lt; 今月の事業実施状況 &gt;</p> <p>7月2日(水)の本会理事会において「西原町商工会 JAPAN ブランド開発プロジェクト委員会設置規程」を制定した。</p> <p>7月28日(月)～31日(木)の最終週にプロジェクト委員会の編成を目標とする。</p> |
|    | <p>&lt; 担当者のコメント &gt;</p> <p>事業担当者セミナーにて事業実施方法を学び、成果をあげていきたい。</p> <p>委員会の編成を今月中で行い来月上旬から本格的にスタートしていく予定です。</p>                              |

# 平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

## 先進的ブランド支援事業案件:2008年5~6月分

| 番号 | 実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント  |
|----|---|
| 1. | <p><b>弘前商工会議所(世界へ発進！津軽『うるおい、うるわし』事業プロジェクト)</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>平成20年5月28日(水)17:30~21:00<br/>           季刊「銀花」8月号の取材を受け、JAPANブランドの取り組みについて説明した。引き続き、青森県立美術館におけるワークショップの可能性について打ち合わせを行い実施する方向で了承した。また、片山りんごさんから、展示会貸出商品のブースにおける評判を確認し、今後の展示会参考とした。その他、盆提灯・印籠の製作品の検品を行い、発送することとした。最後に、Japanブランド4年目の採択に関する審査委員会講評について十分踏まえた形で取り組んでいくこととした。</p> <p>平成20年6月 4日(水)18:00~20:00<br/>           国際漆展・石川 2009 へ出品する作品について下記のとおり決定した。<br/>           締切:6月10日(火)<br/>           出品者:Tsugaru Urushi Spirit LLC<br/>           作品:Box Slit, Compote<br/>           経済産業省「生活関連産業ブランド育成事業」sozo_comm 出店について、斎藤和彦氏から説明があり7月15日締切に向けて商品を選定することとした。<br/>           「津軽塗の世界」展in清水の開催について報告があった。<br/>           期日:平成20年7月24日~29日<br/>           場所:栗田屋本店2階ギャラリー(静岡県静岡市清水区真砂町5-26)<br/>           この展示会は、昨年度のギフトショーJAPANブランド展がきっかけとなっている。<br/>           メゾン・エ・オブジェの出店申し込み締め切りが6月30日となっており、それまでに出店ブースの場所・コマ数を確定することとした。<br/>           今後の試作品の方向としては、3年間の試作品改良型を目指していくこととした。<br/>           新たなものとしては、車のキーレスのキーホルダーや曲ったボールペン等小物が考えられる。<br/>           また、先日取材のあった季刊「銀花」8月号に向けて撮影日程が確定し次第連絡することとした</p> <p>平成20年6月11日(水)17:30~20:30<br/>           青森県立美術館におけるワークショップを本漆を使用しメニューを検討することとした。<br/>           SOZO_COMM出品品について早急に検討することとした。<br/>           小川氏の日程、打ち合わせ内容について確認した。<br/>           ・2月ミラノコレクション発表アクセサリーの商品化について<br/>           ・9月ミラノコレクションへ向けた新商品開発について</p> <p>平成20年6月16日(月)14:30~19:00<br/>           2008.2月のミラノコレクションに出品したアクセサリーのコストダウンの必要性について打ち合わせを実施した。プロトタイプモデルということもあり非常に高価な商品になっており、狭いターゲットへの価格帯である。この価格帯を目指したコストダウンの方法を検討し、国内外への展開を目指す。</p> <p>平成20年6月18日(水)14:00~18:00<br/>           季刊「銀花」8月号に向けて下記のアイテム撮影を実施した。<br/>           コンソール、ハイテーブル、コンポート、ミニカップ、フォーク、プレート、手板、フリーカップ</p> <p>平成20年6月18日(水)18:00~21:00<br/>           仙台藤崎デパートからクラフトフェスティバルへの出店依頼が来ており出展の方向で検討することとした。</p> <p>日時:平成20年8月14日(木)搬入<br/>           8月15日(金)<br/>           ~ 展示会<br/>           8月19日(火)</p> <p>詳細は、添付資料参照。JAPANブランド事業を中心としたクラフト展であり、昨年東北経済産業局と藤崎デパート担当が視察に来た流れと思われる。申込締切は、来週水曜日であるのでそれまでに情報を収集し、出展体制を検討することとした。アクセサリー、名刺入れの木地に関して、明日今木地と打合せを実施し方向性を確認することとした。「津軽蝋プレート」試作品が小笠原氏から上がってきたが、透過は困難であった。木村氏、今</p> |

氏、斎藤氏の試作の出来上がりを待つと共に、田中央氏から、新たな図面が上がってきており、それに関する対応を下記のとおり実施することとした。

・小笠原氏試作品の送付

平成20年6月25日(水) 18:00~20:00

青森県立美術館におけるワークショップに関しては、次回の7月7日(月)までにLLC案を提示することとした。



<担当者のコメント>

## 2. 山形商工会議所(山形発「カロツツェリア型ものづくり」の世界ブランド展開)

<今月の事業実施状況>

・5月 奥山特別指導員が、天童木工・多田木工製作所・菊地保寿堂にて開発指導等を行った。

天童木工 昨年度開発したオリヅルチェアの量産化にむけ生産体制等の指導を行った。

多田木工製作所 試作途中の照明の土台部分のデザイン調整及び照明部分の素材などについて打合せを行った。

菊地保寿堂 昨年度開発したケトルの量産化にむけて、細部の素材・デザインのリファイン等、指導を行った。

・6月 奥山特別指導員がオリエンタルカーペットに対して、昨年第一次試作が完成した「稲穂」のデザイン変更(最終案)を提示した。

<担当者のコメント>

・昨年度開発した製品の量産化に向けて、各企業とも着実に進めてきている。天童木工のオリヅルは4月から販売開始し、菊地保寿堂のケトルは7月から受注開始したところであり、今年度のスタートも順調である。

・特に、NHKの「クローズアップ現代」やテレビ東京の「カンブリア宮殿」にて取材・放送された効果により「山形工房」ホームページへのアクセス数が急増し、また販売数量も伸びてきている。

## 3. 会津若松商工会議所(BITOWA from AIZU)

<今月の事業実施状況>

<委員会開催関係>

□運営委員会

①5/15[内容] (1)展示会・商談会等について

◇インテリアスタイル・横浜西洋館フェスタ出展準備状況報告

(2)今後の販売方針について

◇今年度中に法人化へ向けて組織再構築について確認

(3)商品開発について

◇桐山コーディネーターより商品開発方針素案提示があり、これを踏まえコーディネーター、デザイナー等と継続協議する事とした。

②6/7[内容] (1)展示会出展について

◇インテリアスタイル・横浜西洋館フェスタ出展準備・役割分担について確認

◇2009 メゾン・エ・オブジェ出展申込案内及び全国伝統的工芸品展出品出展依頼について説明

(2)平成20年度事業実施体制について

◇法人化に向けての本年度事業実施体制について日商との協議経過報告

(3)その他

◇国内販売代理店契約等について経過報告

◇BITOWA 取材依頼等について報告

- ③6/18[内容] (1)各展示会等出展報告及び商談先の対応について  
◇インテリアライフ・横浜西洋館フェスタ出展報告  
◇国内販売代理店との商談交渉の役割分担について確認

- ④6/24[内容] (1)平成 20 年度事業計画及び収支予算について  
◇法人化に向けての事業実施体制について確認  
◇展示会出展事業⇒コーディネーター、販売代理店等と早急に協議し、出展展示会等を決定  
◇商品開発事業⇒コーディネーター・デザイナーと次回会議で商品開発方針を決定  
◇収支予算について⇒各事業担当チームで各事業費詳細を早急に再検討

〈展示会出展関係〉

【2008 インテリアライフスタイル】

日 時:平成20年6月11日(水)～13日(金)

場 所:東京ビックサイト 西ホール

出展・来場者 〈出展者〉 652 社(31 カ国・地域)

〈来場者〉 27,390 名(前年比:1,058 名増) [11 日:9,028 名 12 日:9,088 名 13 日:9,274 名]

商談件数:約 100 件⇒国内販売代理店と連携し、継続商談中



【2008 横浜山手西洋館フェスタ JUNE～花と器のハーモニー】

日 時:平成20年6月13日(土)～22日(日)9:30～17:00

場 所:横浜山手西洋館7館 [山手 238 番館] BITOWA×フランス陶器 Gien

テーマ「幸せのつぼみ」～心で紡ぐハーモニックスタイル コーディネーター 窪田宏子(インテリアデザイナー/有格グループ)

来場者:延べ 5 万人

〈インテリアデザイナー 窪田宏子のアーティストトークセッション〉

日 時: 6/15(日)14:00～15:30 場所:横浜山手西洋館「エリスマン邸」 参加者:約 40 名

トークセッション:総合プロデューサー 前谷裕一氏/インテリアデザイナー 窪田宏子氏/BITOWA 松本修

〈会津伝統工芸士「蒔絵教室」 6/20(金)・ 21 日(土) 〈10 名×3回(2時間)〉

場 所:横浜西洋館「山手 234 番館」 講師:会津塗伝統工芸士2名

事業成果:海外有名ブランドとのコラボレーションによる新たなライフスタイルを提案し、全国から訪れた多くの方々により効果的に BITOWA ブランドの浸透を図ることが出来た。

〈広報活動関係〉

スタイルブック「和福美」(創刊号 4/21 発行)紹介記事掲載

Kappo 仙台闊歩(7 月号 6/5 発行)紹介記事掲載

〈担当者のコメント〉

#### 4. 川口商工会議所(KAWAGUCHI i-mono(ものづくりの街のいいものづくり))

〈今月の事業実施状況〉

商工会議所では平成 20 年度の事業計画を策定中であった。

既に製品化されている商品については、本年 2 月よりそごう川口店において先行販売を行なっている。2 月～3 月の2か月間で 121 個を販売する。この種の商品としては、異例の数字であるとそごうの販売担当者も驚嘆した。そごう川口店からは、できれば他の支店でも取扱いたいとの要請がある。また、東急ハンズからも取り扱いたいとの強い要請を受けていた。供給が間に合わず、取引を見合わせておいたが、徐々にではあるが、生産体制も整いつつあり、5～6月からは、販売先の拡大を図っていくこととした。6 月末日からは、東急ハンズで販売を開始している。また、そごうも6～7月のプレミアムバーゲンが終了次第、8 月より、そごう横浜店・西武池袋店に取扱いを拡大し販売していくこととしている。

〈担当者のコメント〉

|    |   |
|----|---|
| 5. | <b>燕商工会議所(「enn」ブランド育成プロジェクト)</b>  |
|    | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;<br/>特に事業は行っておりません。</p>   |
|    | <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p>   |
| 6. | <b>加茂商工会議所(桐を中心とした加茂木エブランドの海外市場販路確立プロジェクト)</b>  |
|    | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;<br/>・6/12 第1回検討会議<br/>(検討内容)・本年度当事業の取り組みについて<br/>・東京国際家具の出展を決定。<br/>・国内販売ルートについて検討<br/>・海外取引の状況</p>  |
|    | <p>&lt;担当者のコメント&gt;<br/>・事業も4年目に入り、ビジネス化に向け様々な課題や問題点が出てきているが、事業が進展している現われたと思う。</p>  |
| 7. | <b>富士吉田商工会議所(『プロジェクト Fuji Façonné(フジファソネ)』)</b>   |
|    | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;<br/>本年度JAPANブランド「先進的ブランド展開支援事業」の採択を頂き、早速5月26日に事業委員会を開催し、本年度の計画について確認した。試作品の開発や展示会出展等、本プロジェクトにおける当該補助事業最終年度ととらえ、参画事業者相互に本年度計画を念頭に動き出した。<br/>差し当たり次回で8回目の出展となる TISSU PREMIER 展(9月3日・4日)への出展を決めており、展示会出展に向けてサンプル点数などを重点的に確認した。</p>  |
|    | <p>&lt;担当者のコメント&gt;<br/>JAPANブランド育成支援事業における数あるプロジェクトの中で「先進的ブランド展開支援事業」に本年度、採択頂いたことは大変名誉なことであり、プロジェクトを形あるものとするため決意を新たに事業を遂行してゆきたい。</p>   |
| 8. | <b>一宮商工会議所(JB(ジョイント・尾州)ブランド海外展開催委員会)</b>  |
|    | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;<br/>6月3～5日、素材開発プロデューサー井上女史の指導により、2009/10秋冬ファッショントレンド情報の詳説に続き、織物の開発企画に着手した。<br/>6月11日には、今年度のJBブランドの海外展示会を実施する団体として、有限責任中間法人ジョイント・尾州ブランド(尾州産地の19企業団体で平成20年4月1日設立。)を中心に「JB(ジョイント・尾州)ブランド海外展開催委員会&lt;略:JB開催委員会&gt;」を設立。同開催委員会の規約、役員、事業計画、収支予算などを議決した。<br/>○JB開催委員会の平成20年度の事業計画<br/>Ⅰ、JBブランド管理 (商標登録の名義変更、商品タグの研究)<br/>Ⅱ、JB素材の開発強化 (フラッグシップ素材各シーズン55点以上の開発)<br/>Ⅲ、展示会等の継続開催 (下記に別掲*)<br/>Ⅳ、ブランド価値の向上 (欧州デザイナーとの提携継続)<br/>* 展示会等の内容<br/>これまでの展示会中心のビジネス展開から、7月のプレ提案、9月の展示商談会、10月のフォロー提案と</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>波動的な事業展開に戦術を変更。アジア市場では香港の展示会に初出展。</p> <p>6月24日、JB開催委員会担当者会議(ワーキング会議)を開催。各社担当者に本年度事業の徹底を図るとともに、秋冬向け素材開発の2回目の指導を実施した。</p> <p>7月は中旬に、海外での広報、展示会場の装飾等を検討する第2回目のJB開催委員会を予定している。同時に、プレ提案のため参加企業の担当者2名を欧州に派遣する。</p>  |
|     | <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>欧州で尾州産の織物展示会を始めて4年が経過した。これまでの『JB』というブランドの売込みを主体とした事業展開から、本格的なビジネスを主体とした事業展開に切り替えるとき、との認識の下にこの4月、ブランドの法人化に踏み切った。まだまだ全面的な自立には程遠いが、気持ちだけは前向きに持ってチャレンジしたい。</p>  |
| 9.  | <p><b>高山商工会議所(『飛騨春慶のある生活提案』によるブランド育成事業)</b></p>  |
|     | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>3月23日(日)今年度の商品開発会議を開催し、メゾン・エ・オブジェパリに出品した商品の現物を見ながら、佐戸川清先生の評価と指導を個々の商品に至るまで質疑応答を実施した。結果、開発の方向性(新規と改廃)をグループメンバー全員が了承した。</p> <p>5月14日(木)グループメンバー全員が集まり、従来商品の価格設定について、今までの疑問を相互に提言し、修正及び調整の基本方針を立てた。特に我々グループの商品開発は、一つの商品を開発するのに2~3異業種のコラボにより完成する商品が増えたため、最終価格設定を実施する責任者の設定が必要であり、そのことも含めた調整も話し合った。</p> <p>その後は、佐戸川先生と各社とのやりとりで個々の活動をしており、「マイ箸」の新規開発で、春慶塗の五角形の箸と、西陣織の箸袋のセットを開発した。</p> |
|     | <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p>  |
| 10. | <p><b>輪島商工会議所(WAJIMA ブランド展開)</b></p>   |
|     | <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>5月26日 4:30 輪島発→21:00 成田着</p> <p>5月27日 11:00 成田発→ 9:30 ケネディ空港着→12:00 ホテル着<br/>まちづくり輪島 INC にて在庫等の確認</p> <p>5月28日 9:00~ NY 関係機関へ訪問<br/>10:00 JETORO NY<br/>11:00 JNTO<br/>14:00 総領事館<br/>15:00 NY 日本商工会議所(日本クラブ)<br/>JAPAN SOCIETY</p> <p>5月29日 9:00~ 現地不動産業者との打合せ</p> <p>5月30日 10:00 五絆財団<br/>伊藤園</p> <p>5月31日 11:15 ケネディ空港発→6月 1日 23:00 輪島着</p>                                   |
|     | <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p>  |
| 11. | <p><b>山中商工会 (YAMANAKA ブランドの確立)</b></p>   |

< 今月の事業実施状況 >

- 3月12日 NUSSHA メンバー会議(6人出席)2008年度事業計画、新商品企画案について
- 3月19日 同上 (8人出席)2008年度事業スケジュール、トミタデザインとの新商品企画打ち合わせ
- 4月18日 実行委員会 19年度事業報告及び20年度事業について
- 4月22日 NUSSHA メンバー会議(7人出席)試作品開発スケジュール、国内展示会(インテリアライフスタイル 2008)出展について
- 5月9日 山中商工会総代会にて事業案承認
- 5月15日 NUSSHA メンバー会議(6人出席)インテリアライフスタイル 2008 出展ブース運営について
- 5月21日 実行委員会 20年度事業について
- 5月21日 NUSSHA メンバー会議(6人出席)インテリアライフスタイル 2008 設営什器、出展商品の確認
- 6月9日 NUSSHA メンバー会議 2008 新商品カタログ完成
- 6月11日～13日 インテリアライフスタイル 2008(東京ビッグサイト)出展
- 6月21日 NY事業委員会(4名出席)漆パネル製作とNY展示会について
- 6月19日～21日 デンマーク国 Træmuseet にて山中漆器展示会開催
- 6月24日 NUSSHA メンバー会議(7人出席) インテリアライフスタイル 2008 出展結果と反省会、国内販売方針

国内メディア掲載記事

- ・北國新聞「漆はジャパンである」(2008年3月10日～27日連載)
- ・Goods Press 5月号 JAPANESE MODERN INTERIOR(徳間書店)
- ・Esquire(エスクァイア)5月号 エキスパートが売れるデザインアイコン GT-R と加賀友禅に共通する美(株)エスクァイアマガジンジャパン)
- ・日本経済新聞 育て地域ブランド(2008年4月4日夕刊 5頁)
- ・日銀金沢支店金融経済調査レポート(2008年 vol.5 日本銀行金沢支店)
- ・日本経済新聞 地場産業、海外に活路(2008年5月31日朝刊 29頁北陸経済特集)
- ・CONFORT 6月号 ユニバーサルでスペシャルな物づくりは事づくりから始まる(建築資料研究社)
- ・Kanon(華音)2008 夏号 伝統を生かしつつ革新を続ける「NUSSHA」による和の世界(美研インターナショナル)
- ・北國新聞 ジャパンブランド採択について(2008年5月27日日刊 1頁)
- ・北國新聞「ブランド力」に自信持とう(2008年5月27日日刊社説)

< 担当者のコメント >

12. 能登町商工会 (『能登の醸し』ブランド発信事業)

< 今月の事業実施状況 >

第1回事業推進委員会を開催し、委員会設置規程及び実施内容等について議論した。  
また、各種関係機関等と今後の事業推進について検討・協議した。

マスコミ対応:北国新聞社、読売新聞社

< 担当者のコメント >

石川県内から3プロジェクトの採択は世界に通用する石川県の独自の商品としてのポテンシャルの高さが認められたためである。石川県全体の取り組みとして、石川県及び石川県 NY 事務所による情報提供や仲介を通じ、プロジェクトの支援していただきたいと考える。

JAPAN ブランドの冠をテコに海外に販路を広げ、同時に国内での売り込みを強化したい。能登の特性を生かし

た商品のブランド力強化や販路拡大の取り組みの定着、拡大につなげたい。

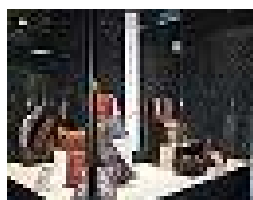
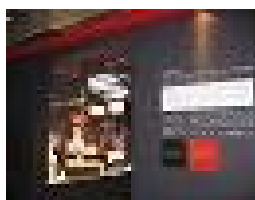
### 13. 京都府商工会議所(KYOTO PREMIUM )

<今月の事業実施状況>

6月1日～29日 京都駅ビル開発(株)及び(株)ジェイアール西日本コミュニケーションズがJR京都駅ビルで開催した京都駅ビル・ファッションカンタータ・ウィークにおいて、平成19年度 KYOTO PREMIUM 参画事業者の商品を展示した。多くの府民・旅行者に情報発信を行ったことにより、注目を受けるとともに、個別商品への受注も得た。

6月18日 KYOTO PREMIUM プロジェクト説明会を開催。31社・団体が出席した。

6月18日～ プロデューサーと参画希望事業者との個別面談を実施、参画事業者の絞込みを実施した。



### 14. 淡路市商工会 (～Kosai Aroma～ 香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランドの確立)

<今月の事業実施状況>

◎「あわじ島の香司」委員会 6月10日(火)

今年度最初のプロジェクト委員会を開催し収支予算及び事業計画を協議した。今年度も海外ではアメリカ中心に事業を展開する。8月及び1月のニューヨークの展示会に出展し、新たな販路開拓を目指す。国内においても東京ギフトショー等に出展し新たな取引先の獲得及び産地のPRに努める。試作品については商品をPRするための新たなツールや広報関係で海外向けのパンフレットの作成を検討する事とした。

◎Kosai Aroma 委員会 6月20日(金)

今年度の市場調査及び展示会は国内では東京ギフトショー等の展示会に出展し販路開拓やPR活動を行う事とし、海外については昨年度の販路開拓事業の実績を重視してアメリカ中心に事業展開を行う事とした。スケジュール的には8月中旬にニューヨーク展示会、9月初旬に東京ギフトショー、1月後半に2回目のニューヨーク展示会に出展する。8月ニューヨーク展示会のブースレイアウト等の詳細については今後十分な協議をしながら準備を進める。試作品については今年度の全体予算を見ながら、香木を使った携帯用ストラップ等の作成について検討する事とした。HP更新の他に海外向けに産地や「あわじ島の香司」15社の商品を紹介するパンフレットを2回目のニューヨーク展示会出展にあわせて作成する。紙面構成は1ページに2社ずつで1社当たりのアイテム数を制限し2～3品目とする。次回の会議から商品構成の検討に入る。

<担当者のコメント>

先月、神戸市で開催された「G8 環境大臣会合」の記念品として「あわじ島の香司」ブランドの商品が参加者に配布された。国際的な会議の中で記念品として使用されるのは非常に意義深い事である。

今後そういった意味でも積極的なPR活動に励み、ブランド確立目指してこの事業に取り組んでいきたい。

#### 15. 松江商工会議所(NEW松江菓子実行委員会)

##### < 今月の事業実施状況 >

- 5/12(月) 実行委員会
- 5/27(火) 企画担当者会議
- 5/29(木) 実行委員会
- 6/12(木) 企画担当者会議
- 6/17(火)～6/23(月) NY「カタギリ」オープン準備
- 6/19(木) 松浦松江市長訪問 東南アジア歴訪の出発報告、姫路菓子博受賞報告（彩雲堂:山口会長、澁谷氏、平田氏）
- 6/20(金) NY「カタギリ」オープン
- 6/23(月) 実行委員会、職人交流会
- 6/25(水) 実行委員会（NYカタギリ状況報告会）
- 6/26(木) 東南アジア4カ国歴訪出発（～7/11 インドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイ）

##### < 担当者のコメント >

- ・ 6/20(金)NY「カタギリ」の改装オープンに伴いテナント出店し、8月末まで試験販売を行う。
- ・ 販売状況については、前回のNYでの実演販売以降、心待ちにしていたお客様も有り、好調な滑り出しとなっている。
- ・ 9月以降については試験販売の状況を見て協議・検討を行う。
- ・ 7月は一ヶ月間集中して「カタギリ」への投入を目指して新商品開発を行う方向で職人交流会を実施する事を決定。その成果を9月以降の国内の需要喚起にもフィードバックする狙いである。

#### 16. 府中商工会議所(府中家具(Fuchu Furniture))

##### < 今月の事業実施状況 >

1. 第1回ワーキンググループ会議  
とき 6月25日(金)午前10時～午後3時  
ところ 府中商工会議所  
内容 1. ワーキンググループ会議(10時～)  
今年度の事業内容について
  - ・デザイナーの選定について
  - ・出展先(NY個展・ハイポイント展示会)の決定について
  - ・市場調査と参画事業者による販路開拓について
2. インタースパンカナダ作道氏との打合せ(13時～)
  - ・ニューヨーク近郊の家具市場について
  - ・4月開催ハイポイント展示会の状況について
  - ・意見交換
2. 第1回 JAPAN ブランド推進委員会  
とき 7月1日(火)正午～午後1時20分  
ところ 府中商工会議所  
内容 ○ 事業計画・収支予算(案)の決定について

・平成20年度の事業計画・収支予算を説明し、承認される。  
○ワーキンググループの設置について  
・11人で承認される。

<担当者のコメント>

今年度は海外の販路開拓を中心に事業を展開するが、今までの実績ではブランド戦略に弱みがあったため、できるだけ改善するようにする

## 17. 大川商工会議所(大川家具)

<今月の事業実施状況>

定期的に事業所会議を行い、20年度事業内容等についての協議を行う。

4月8日、5月2日、5月26日、6月17日実施。

補助確定後、ケルン国際家具見本市への出展申込(100㎡)を行う。

6月7日～14日 イタリア、チェコ、ベルギー、ギリシャへ行き、前年のケルン展示会出展時に興味を示されたバイヤーへ個別の交渉、及び、商品についての意見を聞いて、今年度開発する商品の参考とする。

以下の事業は JAPAN ブランド事業以外の単独事業として実施。

4月9日、10日 2008 大川インテリア総合展の時に会場に隣接する「大川の家」で展示。

4月15日～29日 福岡岩田屋新館で展示会実施。

6月3日～8日 三越日本橋本店で展示会実施。(製作実演を2日間実施)



<担当者のコメント>

展示会への出展や開催など、積極的な事業展開を行っている。

参加事業者は、定期的な会議を実施するなど、主体性を持って事業に取り組んでいる。